



日本機械学会2008年度年次大会 市民フォーラム

生き生き 自立生活!

～高齢社会に役立つ機械工学

2008年8月3日(日)

[参加費] 無料

[プログラム]

●技術フォーラム 13:00～15:00

「生き生き自立生活 高齢社会に役立つ機械工学」

●パネルディスカッション 15:10～16:10

「QOL(Quality of Life)向上を目指した介護・支援システムに期待するもの」

●機器展示 13:00～17:00

[企画] 機素潤滑設計部門, ロボティクス・メカトロニクス部門,

バイオエンジニアリング部門, 機械力学・計測制御部門, 技術と社会部門

[共催] 横浜市経済観光局, 横浜国立大学

●技術フォーラム講演題目と講師

(1) 24h生活の流れの中で福祉支援方法を考える, その例

岩手大学 工学部 教授 大川井 宏明

(2) リハビリテーション医療・福祉現場における機械導入の可能性を探る

～理学療法学術大会発表演題から見てくるもの

豊橋創造大学 リハビリテーション学部 准教授 仙波 浩幸

(3) リハビリテーション医療・福祉現場における導入に向けての機械工学的な

課題～理学療法士への面接調査より～

つくば国際大学 医療保健学部 准教授 縄井 清志

(4) 介護者用パワーアシストスーツの開発

神奈川工科大学 創造工学部 教授 山本 圭治郎

(5) パワーアシストスーツが拓く新たな医療福祉の可能性

アクティブリンク株式会社 代表取締役社長 藤本 弘道

(6) 遊びが体を変えた

株式会社ナムコ BFE 担当リーダー 河村 吉章



開催場所: 横浜国立大学 教育文化ホール
(正門から徒歩3分)

会場への詳細なアクセスガイド

http://www.ynu.ac.jp/access/acc_index.html

●横浜市営バスまたは相鉄バス
「岡沢町」下車 徒歩5分

●横浜市営地下鉄「三ツ沢上町駅」
下車 徒歩約16分